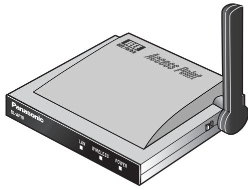
Panasonic®




# 取扱説明書

## 無線アクセスポイント 屋内設置タイプ

## 品番 BL-AP10

このたびは、パナソニック「無線アクセスポイント」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。




保証書別添付

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
**特に「安全上のご注意」（8～13ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。**

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 特　長

BL-AP10 (以下、本製品という) は、以下の特長をもつ無線アクセスポイントです。

## ■ IEEE 802.11a ／b ／g(切替)対応の4モード高速無線LAN

IEEE 802.11a、IEEE 802.11b、IEEE 802.11b/g、IEEE 802.11g専用の4つのモードから選んで使うことができます。当社製無線LANアダプター「BL-WA30」のリピーター機能に対応しています。

※ IEEE 802.11aの屋外での使用は法律により禁止されています。

## ■ 無線おまかせってい（セキュリティ設定含む）

当社製無線ホームネットワークカメラ「BL-C30」や無線LANアダプター「BL-WA30」（別売品）の各種設定を自動的に行います。その際、無線のセキュリティ設定も自動で行いますのでより安全な無線LANを実現します。

# 特　長

## 【略称について】

- Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP ProfessionalまたはMicrosoft® Windows® XP Home Editionです。（以下、Windows XPという）
- Windows® 2000の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 ProfessionalまたはMicrosoft® Windows® 2000 Serverです。（以下、Windows 2000という）
- Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemです。（以下、Windows Meという）
- Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemです。（以下、Windows 98SEという）
- 本書では、「IEEE 802.11a」、「IEEE 802.11b」、「IEEE 802.11g」を、それぞれ「802.11a」、「802.11b」、「802.11g」と表記しています。
- 本書では、「ホームネットワークカメラ」のことを「カメラ」と表記しています。

## 【商標／登録商標について】

- イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

# もくじ

# もくじ

その他

# はじめに

## 本書に使用しているマークについて

- ……… 参照するページを示します。
- …… 操作上お守りいただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。必ずお読みください。
- …… 便利な使いかたやアドバイスなどの関連知識を記載しています。

## 必要なシステム

ファームウェアの更新や本製品の無線情報を手動で設定する場合、パソコンのウェブブラウザから設定する必要があります。

| 項目 | 対応パソコン (手動設定時) |
|---|---|
| OS | Windows® XP、Windows® 2000、Windows® Me、Windows® 98SE |
| インターフェース | 10/100 MbpsのLANカードが搭載されていること |
| メモリー | 64 MB以上 |
| プロトコル | TCP/IPプロトコルがインストールされていること |
| ウェブブラウザ | Internet Explorer 6.0以降（日本語版） |




**使用しているパソコンについて不明な点がありましたときは、お客様相談センターでは対応しかねますので、直接パソコンメーカーにお問い合わせください。**

### ■ 当社対応製品 (平成16年12月現在)

**ホームネットワークカメラ**
BL-C30（802.11b、802.11g対応）

**無線LANアダプター**（別売品）
BL-WA30（802.11a、802.11b、802.11g対応）

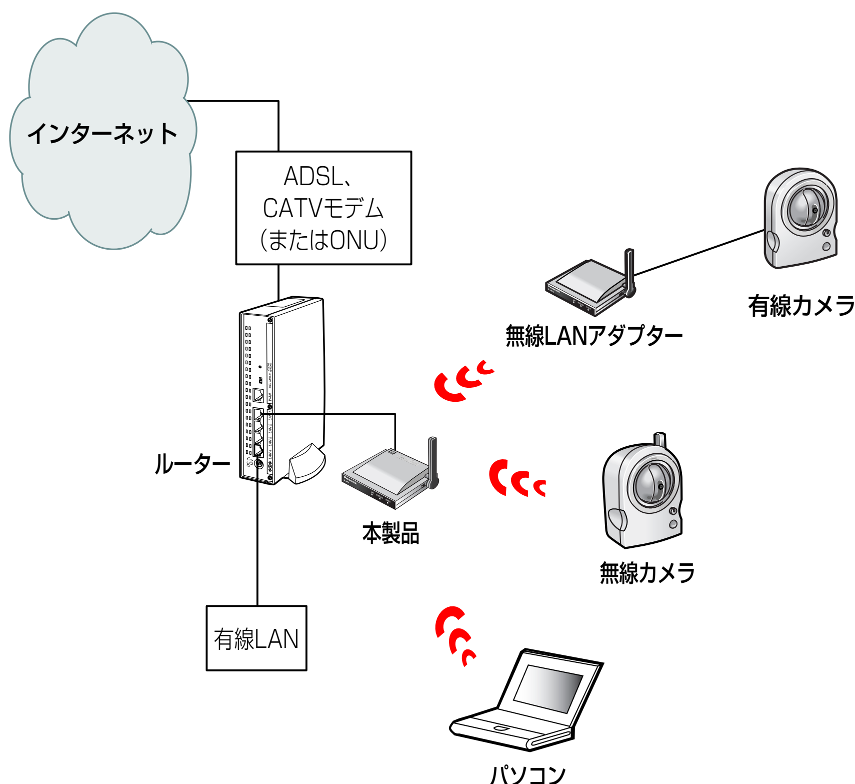
# はじめに



【本製品について】

本製品は、既存のネットワークと無線LANを接続するための無線アクセスポイントです。

- 当社製無線機器およびリピーター機能をもった無線LANアダプターにも対応しており、より自由度の高い無線LANを構成できます。
- IEEE 802.11bをはじめとしてIEEE 802.11g、IEEE 802.11aに準拠した無線通信に対応しています。SSIDやWEP、MACアドレスフィルタリング機能、無線ステルス機能を使用することによって、より確実なセキュリティを保つことができます。
- 通信速度（規格値）は以下のとおりです。
  IEEE 802.11b:　1/2/5.5/11 Mbps
  IEEE 802.11g:　1/2/5.5/11 Mbps&6/9/12/18/24/36/48/54 Mbps
  IEEE 802.11a:　6/9/12/18/24/36/48/54 Mbps



# 安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

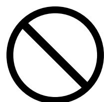
| | |
|---|---|
|  | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
|  | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は絵表示の一例です。）

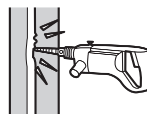
| | |
|---|---|
|  | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。 |
|  | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。 |

 警 告

**設置・配線工事の際の壁や天井への穴あけや、ACアダプターのコードやケーブルを固定する際は、屋内配線・屋内配管を傷つけない**


禁　止

漏電・感電・火災などの原因になります。



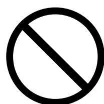
# 安全上のご注意　必ずお守りください



## ⚠ 警告

### ACコードやプラグを破損するようなことはしない

ドアにはさみ込んだり、傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない。

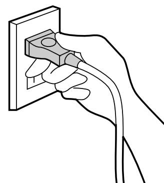

禁　止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

### ACコードのプラグは根元まで確実に差し込む





差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

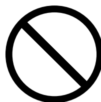
●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### 本製品やACアダプターを壁や天井に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付ける



落下により、けがの原因になります。

### 専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない


禁　止

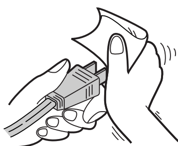
専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります。

# 安全上のご注意　必ずお守りください

## ⚠ 警告

### ACコードのプラグのほこりなどは定期的にとる

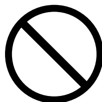




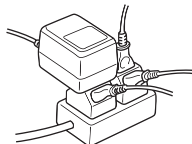
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACコードのプラグをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

### コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



禁　止



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### ACコードのプラグを抜き差しするときはプラグ（金属でない部分）を持つ



感電の原因になります。

### 雷が鳴ったら本製品やACアダプターに触れない



接触禁止

感電の原因になります。

### 本製品やACアダプターから煙・異臭・異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

### 本製品およびACアダプターをぬらさない



水ぬれ禁止

近くに花びん、コップなどを置かないでください。発火・感電の原因になります。

- ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

# 安全上のご注意　必ずお守りください



## ⚠ 警告

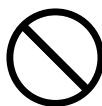
### ぬれた手でACアダプターやACコードの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

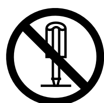
### 本製品内部にクリップやピンなど金属物や異物を入れない



禁　止

感電・故障の原因になります。

### 絶対に分解したり、修理・改造をしない

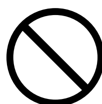


故障したり火災・感電の原因になります。

分解禁止

● 修理は販売店へご相談ください。

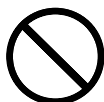
### 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない



禁　止

本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

### 医用電気機器の近くでの設置や使用をしない



禁　止

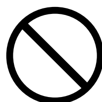
手術室、集中治療室、CCU※などには持ち込まないでください。

本製品からの電波が、医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

※CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

# 安全上のご注意　必ずお守りください

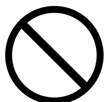
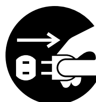
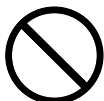
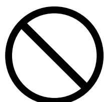
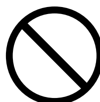
##  警告

| 落下させたり、強い衝撃を加えない | 心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す |
| --- | --- |
|  禁　止　けがや故障の原因になります。 |  電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。 |

# 安全上のご注意　必ずお守りください



## ⚠ 注 意

| | |
|---|---|
| **水平でない場所や振動の激しい場所には設置しない**<br><br>禁　止<br>落下により、けがの原因になることがあります。 | **長期間使用しないときや、お手入れするときは、必ずACコードをコンセントから抜く**<br><br>電源プラグを抜く<br>漏電・感電の原因になることがあります。 |
| **水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しない**<br><br>禁　止<br>感電・ショートや故障の原因になることがあります。 | **火気を近づけない**<br><br>火気禁止<br>火災の原因になることがあります。 |
| **ケーブルを引っぱったり、コネクター部やアンテナ部に無理な力を加えない**<br><br>禁　止<br>損傷や感電の原因になることがあります。 | **CD-ROMは、オーディオ用CDプレーヤーでは絶対に再生しない**<br><br>禁　止<br>大音量によって耳に障害を与えたり、スピーカーを破損する恐れがあります。 |

# 正しくお使いいただくためのお願い

**長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房器の近くなどに設置しないでください。**

（変形・変色または故障・誤動作の原因になります。）

**本製品は、涼しくて湿気が少なく、なるべく温度が一定の場所に設置してください。**

動作温度：0 ℃～40
動作湿度：20 %～85%
(ただし、結露なきこと)

**隣接して使用しているラジオやテレビから2 m以上離してください。**
**また、同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください。**

（ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。）

**CD-ROMに、テープ、シールやラベルなどを貼らないでください。**
**また、CD-ROMの裏面に、マジックやボールペンなどで文字を書かないでください。**

（読み取り障害の原因になります。）

**お手入れの際は、電源を切ってください。**

（誤動作の原因になります。）

**ジャック内部に触れないでください。**

（故障の原因になります。）

**ベンジンやシンナー、研磨剤などを使って本製品をふかないでください。**

（本製品が変形・変色することがあります。）

**固くしぼった柔らかい布でふいてください。**

（台所用洗剤 (中性) を水で薄め、柔らかい布に含ませ、固くしぼってふいてください。）

**本製品に磁石など磁気をもっている物を近づけないでください。**

磁気の影響を受けて動作が不安定になります。

# 正しくお使いいただくためのお願い



- 本製品を分解・改造することは法律で禁じられていますので、故障の際は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
- 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。
- 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- 本製品のデザイン、仕様は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の記載内容の一部、または全部を無断で転載することを禁じます。
- この装置は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
  取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

# 正しくお使いいただくためのお願い

## 無線通信の使用範囲について

**本製品と無線機器の距離が約50 cm～約120 m (屋内見通し距離)・約50 cm～約600 m (屋外見通し距離) の範囲でお使いください。ただし、IEEE 802.11aは5.2 GHz帯域の電波を使用しています。このため、IEEE 802.11aの屋外での使用は法律により禁止されています。**

(無線機器の性能や周囲の環境によっては、使用範囲が狭くなります。)

**本製品と無線機器の間に次のような物体があるときは設置場所を変更してください。**

(電波を通しにくい物体が周囲にあると通信ができなかったり通信速度が遅くなる場合があります。)

- 鉄のドア
- スチール棚
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 防火ガラス

**次のような機器と同時に本製品を使用しないでください。**
(電波が混信したり、誤動作の原因になります。)

- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近く
- 盗難防止装置やPOSシステムなど2.4 GHz周波数帯域を利用している機器のある屋内

## 電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、お客様ご相談センター（☞ 73～74ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起3たときには、お客様ご相談センター（☞ 73～74ページ）へお問い合わせください。

# セキュリティに関するご注意



本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受けることが想定されますので、セキュリティ対策を十分に行ってください。

- ●本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- ●悪意の第三者による本製品の不正操作
- ●悪意の第三者による本製品の妨害や停止

行うべきセキュリティ対策は下記のとおりです。

■ 不正な攻撃から守るため、最新のファームウェアを入手してバージョンアップする。(☞ 58ページ)
(バージョンアップを怠ると、アクセスできなくなったり、情報の漏えいにつながることがあります。)

■ 本製品へアクセスするためのユーザー名／パスワード (☞ 51ページ)、本製品に対する設定情報は、お客様の責任管理下にあります。それらの情報に関わる利用者または利用者グループ以外の第三者が、参照、更新、削除、複写できないようにアクセスを制限する。

■ 本製品を盗難に遭いにくい人目に付かない場所に設置する。

■ 以下のような場合は、必要に応じて個人情報をバックアップしたあと、本製品を工場出荷値に戻す。 (☞ 53ページ)
●当社が関与できない外部業者に修理を依頼するとき。
●他人に譲渡するとき。

■ 本製品を廃棄するときは、本製品を初期化して工場出荷時設定に戻したり、あるいは、電気的消去や物理的破壊などの手段により本製品上の情報を抹消する。(☞ 53ページ)

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

# セキュリティに関するご注意

**無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意！**
**お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。**

無線LANでは、イーサネットケーブルを使用するかわりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
  - ID、パスワード、通信画像やEメール
  などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
  - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  - 傍受した通信内容を書き替えて発信する（改ざん）
  - コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
  などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線アクセスポイント、無線LANアダプター、ホームネットワークカメラやカメラコントロールユニットをはじめとする無線LAN製品（以下、無線LAN製品という）は、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行い使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LAN製品をご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティに関する設定を取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティに関する設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティに関する設定について、お客様自身で対処できない場合には、お客様ご相談センター（☞ 保証とアフターサービス）までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、無線LAN製品を使用することをおすすめします。
セキュリティに関する設定を行わない、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社では、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

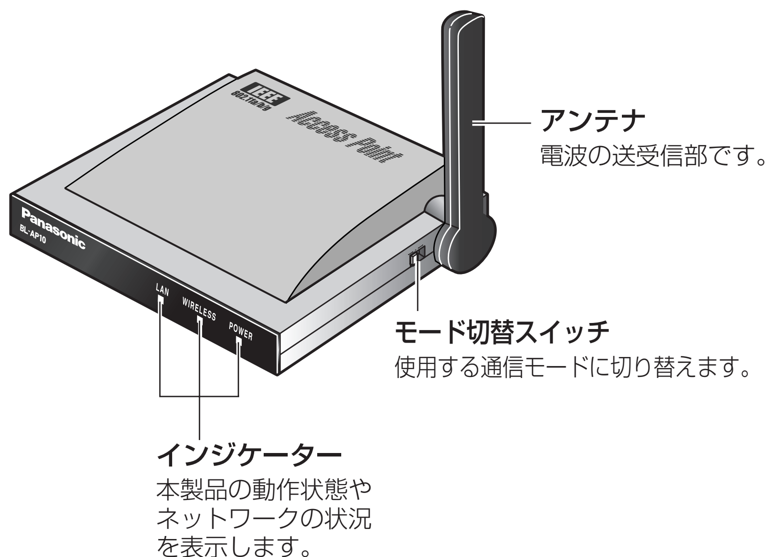
上記文掲載URL: http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/support/jeita_info.html

パナソニック コミュニケーションズ株式会社

# 各部のなまえとはたらき



## 前面




**アンテナ**
電波の送受信部です。

**モード切替スイッチ**
使用する通信モードに切り替えます。

**インジケーター**
本製品の動作状態やネットワークの状況を表示します。

### ■ モード切替スイッチ

| スイッチ位置 | 機能 |
|---|---|
| 802.11b | 本製品で送受信する通信モードが802.11bとなります。 |
| 802.11g | 本製品で送受信する通信モードが802.11gとなります。<br>おしらせ 設定画面にも通信モード切替があり、802.11bと802.11gとの通信ができる「802.11b/g」モードと802.11gとのみ通信ができる「802.11g専用」の2つのモードから動作モードを選べます。 |
| 802.11a | 本製品で送受信する通信モードが802.11aとなります。 |

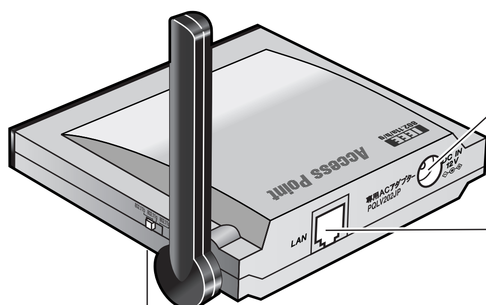



**通信モードを切り替えるときは、本製品のACコードをコンセントから抜いて、再度コンセントに差し込む必要があります。**




**工場出荷時には、「802.11b/g」が設定されています。**

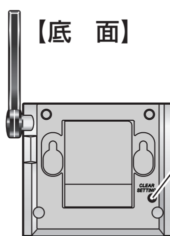
## 背面




**DC INジャック**
ACアダプターのDCプラグを接続します。

**LANジャック**
イーサネットケーブルを接続します。

【底　面】




**CLEAR SETTINGボタン**
本製品の設定値を初期値(工場出荷値) に戻します。
(☞61ページ)

# 各部のなまえとはたらき

## ■ インジケーターについて

インジケーターは、本製品の動作状態やネットワークの状況を表示します。

| インジケーター | 点灯色 | 表示内容 |
|---|---|---|
| POWER | 緑（点滅） | 起動しています。<br>（電源を入れると約10秒緑点滅します。） |
| | 緑 | 電源が入っています。 |
| | オレンジ（点滅） | 初期化中です。初期化終了後、再起動後に通常のモード表示に戻ります。 |
| | 赤 | 赤点灯のまま変わらない場合は本製品が故障しています。（お買い上げの販売店へお申しつけください。） |
| WIRELESS | 緑 | 無線機器と接続しています。 |
| | 緑（点滅） | 無線でデータ通信しています。 |
| LAN | 緑 | LAN機器に接続しています。 |
| | 緑（点滅） | データ通信をしています。 |

# カメラ(BL-C30)に無線情報を設定する【自動設定】

お買い上げ時には設定済みです。本製品の設定を変更したり、カメラを工場出荷時設定に戻した場合に自動設定を行ってください。

## 無線情報を自動設定する

**1** モード切替スイッチを「802.11b」または「802.11g」にする

**2** 本製品のACアダプターのコードをDC INジャックに差し込む

**3** ACアダプターにACコードをつなぎ、プラグをコンセントに差し込む（自動的に電源が入ります）

**4** イーサネットケーブルを、カメラと本製品のLANジャックに接続する

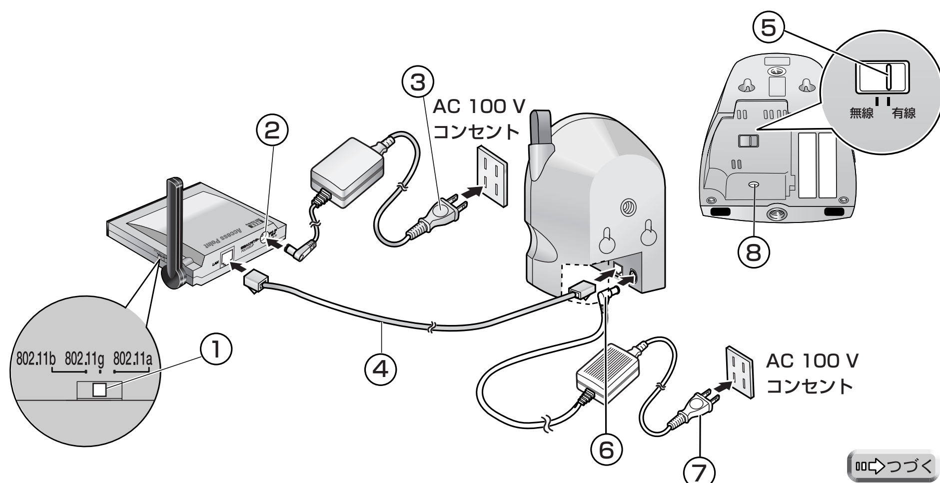
**5** カメラ底面の有線／無線切替スイッチを「有線」側に切り替える

**6** カメラのACアダプターのコードをDC INジャックに差し込む

**7** ACアダプターにACコードをつなぎ、プラグをコンセントに差し込む（自動的に電源が入ります）

**8** カメラ底面のCLEAR SETTINGボタンを押す

→カメラが2回再起動したら無線情報の設定は完了します。設定には2～3分かかりますので、お待ちください。




つづく

# カメラ(BL-C30)に無線情報を設定する【自動設定】

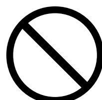



- 本製品はCLEAR SETTINGボタンを押すと工場出荷値に戻ります。SSIDと暗号化（WEP）キーは、本製品のMACアドレスから自動生成されます。無線カメラのCLEAR SETTINGボタンを押すと無線カメラが工場出荷値に戻ります。本製品と無線通信を行うには、無線自動設定を行う必要があります。
- **WEPデータの自動設定に関して**
  本製品と当社製無線LANアダプター「BL-WA30」の組み合わせで設定の場合、128 bitのWEPキーを4つ設定できます。



## 警告

■ **専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない**



禁　止

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります。

# 本製品を設定する【手動設定】

## 手動設定する前に

■ 本製品を設定するためにはパソコンの設定が必要です。本製品は設定をウェブブラウザ上から行います。本章の手順に従ってご使用のパソコンのネットワーク設定を行ってください。

■ 設定で使用するパソコンのIPアドレス、サブネットマスクを下記のように入力してください。

IPアドレス：　192.168.0.100または192.168.0.200
サブネットマスク：　255.255.255.0

設定のしかた

- Windows XPをご使用の場合　☞ 25ページ
- Windows 2000をご使用の場合　☞ 27ページ
- Windows Meをご使用の場合　☞ 29ページ
- Windows 98SEをご使用の場合　☞ 29ページ

■ ご使用のパソコンがプロキシサーバーを使用しているときは、プロキシサーバーを使用しないように設定変更してください。(☞ 31ページ)

■ 無線情報を設定終了後、IPアドレス、サブネットマスク、プロキシサーバーの設定は元に戻してください。




IPアドレスを固定してご使用の場合は、必ず設定値をメモしてください。

# 本製品を設定する【手動設定】

## パソコンのIPアドレスを設定する

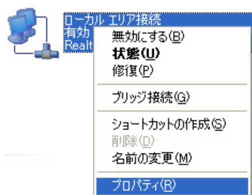
### ■ Windows XPの場合

Windows XPは「Administrator」または同等の権限をもつユーザー名でログオンする必要があります。(詳細はOSの取扱説明書をお読みください)

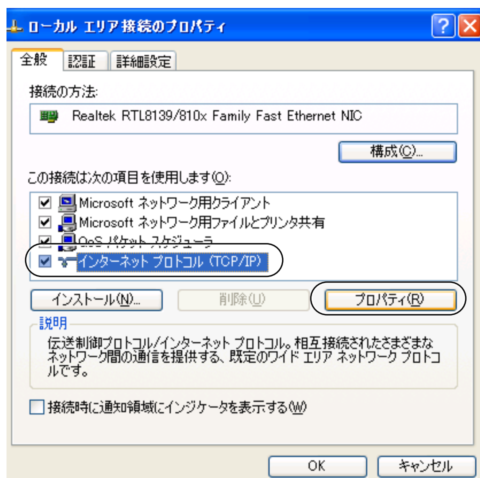
**1** 「スタート」メニューの「マイ コンピュータ」から「マイ ネットワーク」を選ぶ

**2** 「ネットワーク接続を表示する」を選ぶ

**3** 「ローカル エリア接続」のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」を選ぶ

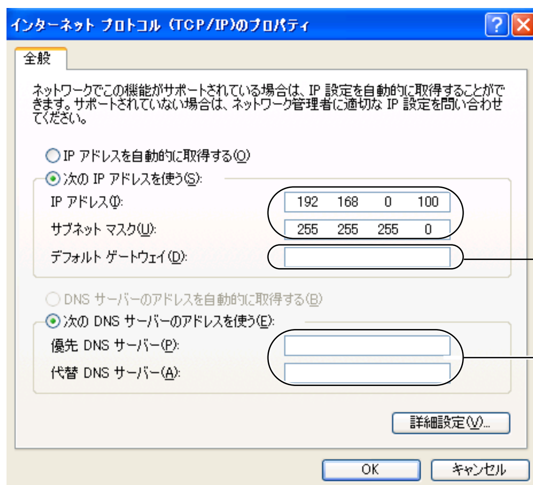



**4** 「インターネット プロトコル（TCP/IP)」を選び、［プロパティ］をクリックする




つづく

**5** 「次のIPアドレスを使う」を選択して、IPアドレス **192.168.0.100** (または**192.168.0.200**）とサブネットマスク (**255.255.255.0**) を入力する







● **デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は変更する必要はありません。**

**6** OK をクリックし、「ローカル エリア接続のプロパティ」のウィンドウを閉じる

**7** 本製品のメニュー画面にアクセスして、無線情報を設定する（☞ 33ページ）

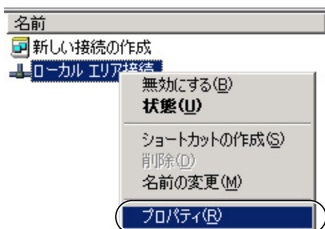
プロキシサーバーをご使用の場合は、31ページの「プロキシサーバーをご使用の場合」に進んでください。

## ■ Windows 2000の場合

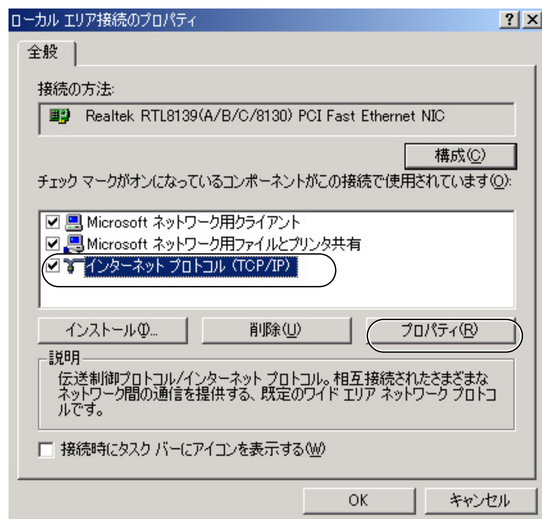
Windows 2000は「Administrator」または同等の権限をもつユーザー名でログオンする必要があります。(詳細はOSの取扱説明書をお読みください)

**1** 「マイ ネットワーク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選ぶ

**2** 「ローカル エリア接続...」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選ぶ




**3** 「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選び、 プロパティ をクリックする

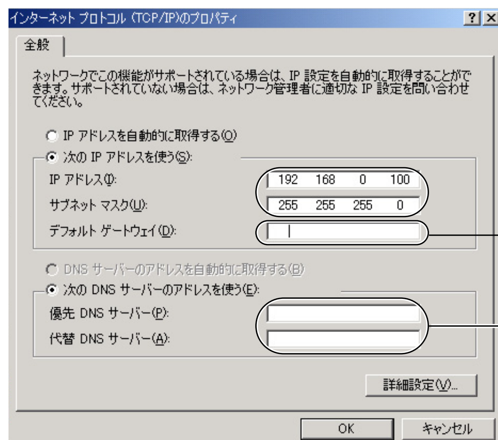





つづく

# 本製品を設定する【手動設定】

**4** 「次のIPアドレスを使う」を選択して、IPアドレス **192.168.0.100**（または**192.168.0.200**）とサブネットマスク（**255.255.255.0**）を入力する







- **デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は変更する必要はありません。**

**5** [OK] をクリックし、「ローカル エリア接続のプロパティ」のウィンドウを閉じる

**6** 本製品のメニュー画面にアクセスして、無線情報を設定する（☞ 33ページ）

プロキシサーバーをご使用の場合は、31ページの「プロキシサーバーをご使用の場合」に進んでください。

# 本製品を設定する【手動設定】

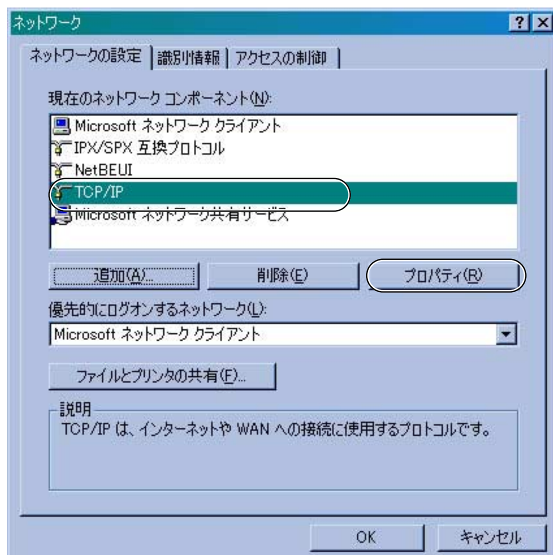
## ■ Windows Me／98SEの場合

**1** 「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ

**2** 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする

- Windows Meを使っていて、ネットワークアイコンが見えない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

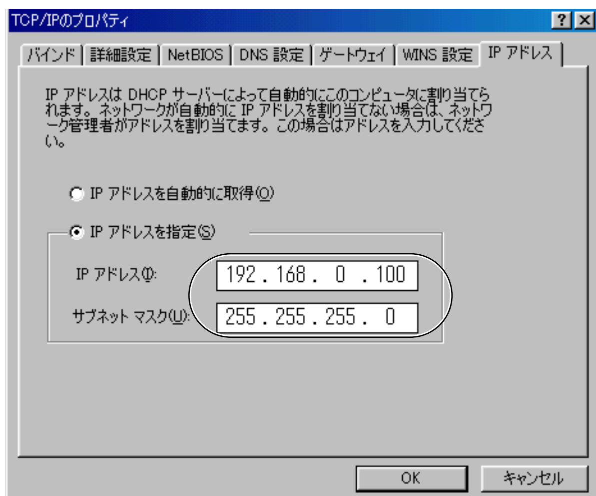
**3** ネットワークカードに対応したTCP/IPを選び、ネットワークダイアログボックスの **プロパティ** をクリックする




無線設定

つづく

**4** 「IPアドレス」タブをクリックし、「IPアドレスを指定」を選択して、IPアドレス**192.168.0.100** (または**192.168.0.200**) とサブネットマスク(**255.255.255.0**) を入力し、 OK をクリックする







- **デフォルトトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は変更する必要はありません。**
- IPアドレスの設定を変更した場合、再起動を促すメッセージが表示されます。 はい をクリックして、パソコンを再起動してください。

**5** 本製品のメニュー画面にアクセスして、無線情報を設定する(☞ 33ページ)

プロキシサーバーをご使用の場合は、31ページの「プロキシサーバーをご使用の場合」に進んでください。

# 本製品を設定する【手動設定】

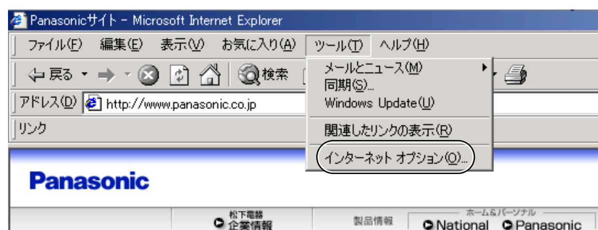
## プロキシサーバーをご使用の場合

プロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合、本製品のメニュー画面にアクセスすることはできません。
次の手順に従ってウェブブラウザの設定を変更してください。

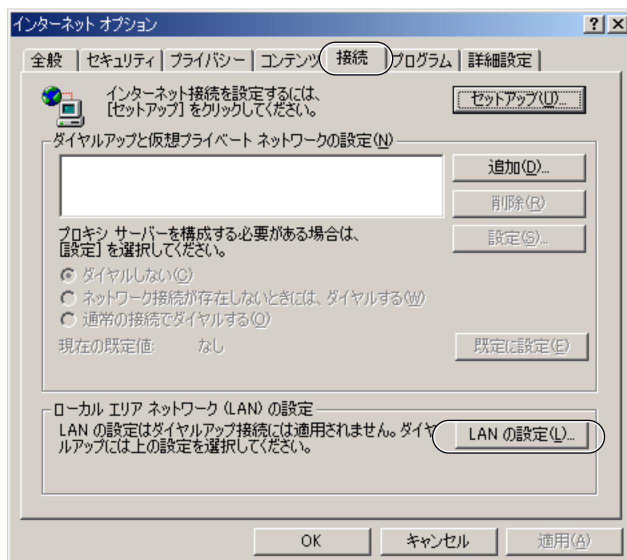
【Internet Explorer 6.0の場合】

**1** ウェブブラウザを起動する

**2** 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選ぶ



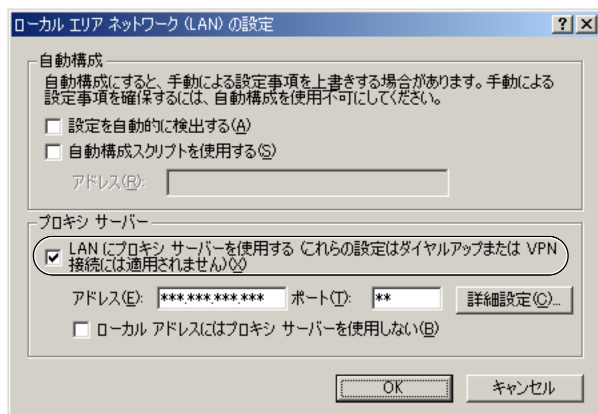

**3** 「接続」タブをクリックし、 LANの設定 をクリックする




無線設定

つづく

**4** ローカル エリア ネットワーク（LAN）の設定ダイアログボックスで、「プロキシ サーバーを使用する」のチェックボックスを確認する




- チェックボックスがチェックされていたら、 チェックをはずして OK をクリックしてください。
- チェックボックスがチェックされていなかったら、 キャンセル をクリックし設定を終了してください。




「プロキシサーバーを使用する」にチェックが入っている場合は、チェックをはずす前に、設定されているアドレスとポート番号をメモしてください。
無線情報の手動設定終了後は、「プロキシサーバーを使用する」にチェックを入れ、アドレスとポート番号の設定を元に戻してください。

# 本製品を設定する【手動設定】



## メニュー画面にアクセスする

**本製品のメニュー画面にアクセスするには、パソコンのIPアドレスを192.168.0.100または192.168.0.200、サブネットマスクを255.255.255.0、プロキシサーバーを使用しないに設定変更する必要があります。(☞ 31ページ)**

**1** ウェブブラウザを起動する

**2** ウェブブラウザのアドレスバーに半角で
http://192.168.0.251と入力しEnterキーを押す

→ 「パスワード設定」画面が表示されます。

**3** 「新しいユーザー名」入力欄にユーザー名を6～15文字までの半角英数字で入力する

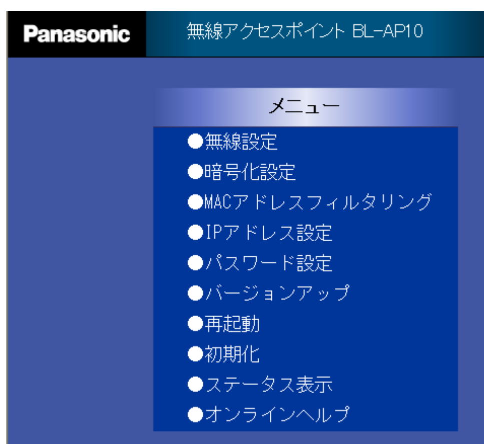
**4** 「新しいパスワード」入力欄にパスワードを6～15文字までの半角英数字で入力し、確認のため「パスワードの再入力」入力欄に再度新しいパスワードを入力して「保存」をクリックする

- パスワード設定画面は初めてメニュー画面にアクセスしたときだけ表示されます。設定したパスワードを変更するときは、51ページを参照してください。

パスワード設定
新しいユーザー名
新しいパスワード
パスワードの再入力
注：(1)ユーザー名とパスワードは、画面を表示するために必要です。必ず、メモをおとりください。
(2)ユーザー名とパスワードは、半角英数字のみ使用できます。ただし、[Space],["],['],[&],[<],[>]は、使用できません。
(3)大文字、小文字を区別して6～15文字を入力してください。
(4)パスワードは、ユーザー名と異なっていなければなりません。
(5)パスワードは定期的に変更してください。
保存　元に戻す

つづく

## 5 「メニュー」画面が表示される

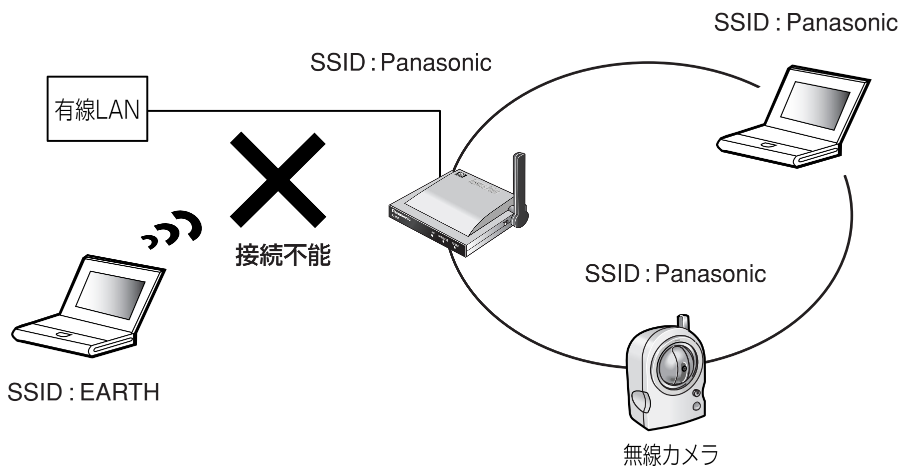



- **無線設定**：無線情報を設定します。(☞ 35ページ)
- **暗号化設定**：暗号化情報を設定します。(☞ 42ページ)
- **MACアドレスフィルタリング**：接続できる無線機器を限定します。(☞ 46ページ)
- **IPアドレス設定**：IPアドレスを設定します。(☞ 49ページ)
- **パスワード設定**：パスワードを設定します。(☞ 51ページ)
- **バージョンアップ**：バージョンアップ（ファームウェアの更新）をします。(☞ 58ページ)
- **再起動**：再起動します。
- **初期化**：設定値を初期値（工場出荷値）に戻します。(☞ 53ページ)
- **ステータス表示**：無線情報や機器情報を表示します。(☞ 55ページ)
- **オンラインヘルプ**：ヘルプ画面を表示します。

# 本製品を設定する【手動設定】

## 無線LANを使う

無線設定画面では、無線LANに接続するための設定やセキュリティの設定を行います。無線LANでは、テレビやトランシーバーと同じように電波を使い、通信チャンネルを選んで通信します。本製品でもっている「802.11b」、「802.11b/g」、「802.11g専用」、「802.11a」の4つの通信モード※1はそれぞれ使用する帯域や通信速度が異なっています。工場出荷時設定は「802.11b/g」です。また、ネットワークに名前(SSID)をつけ、同じSSIDと同じ暗号化設定、および同じ通信チャンネルの機器同士でのみ接続することができます。無線LANに接続する機器には同じSSIDと通信チャンネル※2を設定してください。




※1 IEEE 802.11aの屋外での使用は法律により禁止されています。

※2 本製品に接続する無線機器は、本製品と同じSSIDが設定されていれば、通信チャンネルを自動的に検索し、通信することができます。

※3 複数の無線LANを使用し、通信チャンネルが重なると通信速度が下がる場合があります。その場合は、チャンネルが重ならないように変更してください。チャンネル設定で「自動」を選ぶと、電源を入れたときに本製品が最適チャンネルを選びます。



つづく

# 本製品を設定する【手動設定】

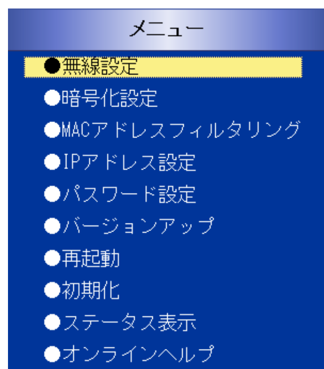



- **工場出荷時設定では、機器固有のSSIDと英数13文字128 bit暗号化キーが設定されています。SSIDと英数13文字128 bit暗号化キーの工場出荷時設定は、本製品底面に記載してあります。**
- 当社製無線LANアダプター「BL-WA30」（別売品）をリピーター(電波中継器)として使用すると、無線LANの伝達距離を約2倍に延長することができます。本製品と無線カメラの間の距離が離れていたり、途中に障害物などがある場合に、「BL-WA30」をリピーターモードに設定して中間地点に設置すれば良好な電波状態で通信できるようになります。リピーターモードの「BL-WA30」は無線カメラを2台まで中継できます。
- 無線機器が本製品に無線リンクしているとき、データ通信が一定時間行われないと、本製品は接続している機器の無線リンクを強制切断します。これは、本製品がほかの無線リンクへのアクセスを優先させることを目的として、通信されない無線機器を切断することによって無線通信負荷を軽減させる本製品の機能です。
- 当社製無線LANアダプター「BL-WA30」（別売品）との自動設定機能の手順については、無線LANアダプターのかんたんガイドを参照してください。
- 本製品が「802.11a」に設定されている場合は、当社製ホームネットワークカメラは自動設定されません。自動設定を行うには、モード切替スイッチを「802.11b」または「802.11g」にしてください。

## 無線設定をする

**1** ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 33～34ページ)

**2** 設定画面上の 無線設定 をクリックする




つづく

## 3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

「無線ステルス機能」の選択については、39ページを参照してください。
元の設定に戻すには、 元に戻す をクリックしてください。
本製品に接続する無線機器にも同じSSIDを入力してください。
工場出荷時に設定しているSSIDの工場出荷時設定は本製品底面に記載されています。
それぞれの入力欄については、39～41ページを参照してください。

無線設定

| | |
|---|---|
| SSID | AP****** |
| 無線ステルス機能 | 使用する　使用しない |
| 802.11aチャンネル | 自動 |
| 802.11b,11gチャンネル | 自動 |
| 802.11g通信モード | 802.11b/g |

保存　元に戻す

メニューへ戻る

## 4 入力が完了したら 保存 をクリックする

## 5 再起動 をクリックする

設定変更

設定が変更されました

再起動ボタンを押してください

なお、設定を続ける場合は
メニューへ戻ってください

再起動

メニューへ戻る

● 次の画面が表示されます。

無線アクセスポイント BL-AP10を再起動しています。

しばらくたっても画面が更新しない場合は、
下記のURLをクリックしてください。

http://192.168.0.251/

無線設定

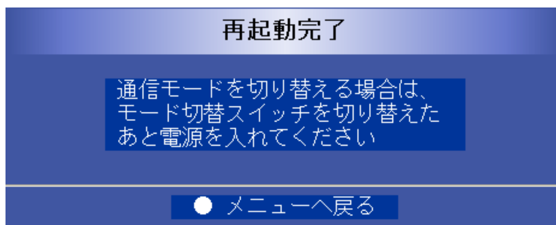
つづく

# 本製品を設定する【手動設定】

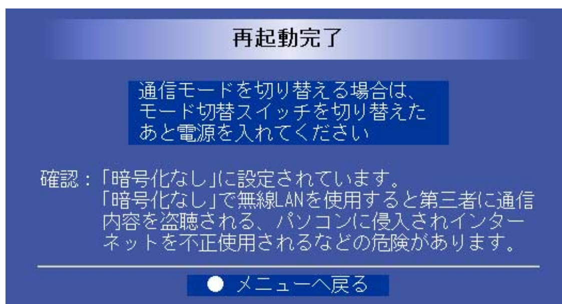



● 再起動後、再起動完了画面が表示されないときは、画面上に表示される http://192.168.0.251/ をクリックしてください。
それでも表示されない場合は、パソコンを再起動してください。

**【再起動完了画面】**




● 暗号化設定の暗号化方式で「暗号化なし」を設定している場合は、再起動後、下記画面が表示されます。セキュリティ確保のため、暗号化設定をしてください。(☞ 42ページ)







データ入力欄には、スペースを入れないでください。



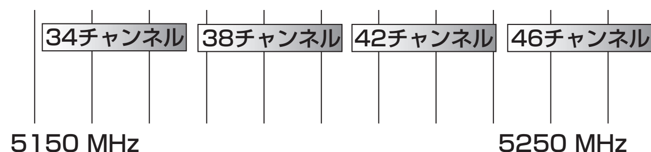

● 無線ステルス機能を「使用しない」に設定した場合、セキュリティが弱くなります。(☞ 39ページ)
● 無線機器によっては、使用できる通信チャンネルに制限があるものがあります。無線機器の取扱説明書を確認して、本製品の通信チャンネルを設定してください。
● カメラなどを自動設定したあとに本製品のSSIDを変更した場合は、自動設定をやり直すか、個別に設定を合わせる必要があります。

### データ入力欄

| | |
|---|---|
| SSID | 無線LANでは、ネットワークに名前をつけます。この名前をSSIDと呼びます。SSIDは、無線LANに接続できる各機器に設定し、同じSSIDをもつ機器同士でのみ通信ができます。SSIDの入力では、次の規則に従ってください。(工場出荷時設定で機器固有のSSIDが入力されています。本製品底面に記載されています。)<br>● 半角英数字しか入力できません。<br>● 英字の大文字と小文字は区別されます。<br>(例):"ABC" と "abc" は異なる名前と認識されます。<br>● 32文字まで入力できます。 |
| **無線ステルス機能** | 無線LAN機器がネットワーク内の機器を検知できるように、ネットワークの識別子であるSSIDを一定時間ごとに周囲に発信する機能があります。「使用しない」を選ぶと、無線LAN機器は、容易にネットワーク内の機器を検知する事ができます。しかし、不特定のユーザーも容易にネットワーク内の機器を発見して接続を試みることができるため、セキュリティ上の弱点となる可能性があります。そこで、無線ステルス機能を「使用する」を選ぶことにより、ネットワーク内の機器を容易に検知されないようにすることができます。「使用する」に設定した場合、ANYキーによる接続が拒否されます。工場出荷時設定では、「使用する」が選ばれています。 |



つづく

| | |
|---|---|
| 通信チャンネル | ネットワーク内で通信するチャンネルを設定します。802.11bまたは802.11gの場合、1～13の中から選びます。また、802.11aの場合、34、38、42または46の中から選びます。<br>複数の無線LANを使用し、通信チャンネルが重なると通信速度が下がる場合があります。その場合は、チャンネルが重ならないように変更してください。チャンネル設定で「自動」を選ぶと、電源を入れたときに本製品が最適チャンネルを選びます。<br>● 工場出荷時、チャンネル設定は802.11b/g、802.11a用どちらも「自動」が選ばれています。<br>● 802.11b/g上で「自動」を選んだ場合、最適チャンネルは、1チャンネルから11チャンネルの中から選ばれます。12、13チャンネルは選ばれません。（12、13チャンネルをサポートしていない無線機器があります。）<br>802.11b/802.11g<br><br>2400 MHz　2500 MHz<br>802.11a<br><br>5150 MHz　5250 MHz |
| 通信モード | 通信モードは切替スイッチで決まります。<br>通信方式を､｢802.11b｣､｢802.11b/g｣､｢802.11g専用｣､「802.11a」から選ぶことができます。ただし、スイッチが「802.11g」のときはモードを設定画面で「802.11b/g」、「802.11g専用」から選ぶことができます。<br>●「802.11b」は、2.4 GHz帯で通信を行います。対応製品が豊富かつ安価です。手軽に利用できるだけでなく、すでに広く普及しているので、お手持ちの無線機器を活用したいときなどに便利です。<br>●「802.11b/g」は、2.4 GHz帯で通信を行います。802.11bと802.11gの特長をかねそなえ、両方の無線LAN規格に対応しています。既存の無線LAN環境に導入しやすい通信方式です。 |

つづく

| 通信モード | ●「802.11g専用」は、802.11g通信のみを行います。本製品の通信モードも「802.11g専用」に設定すれば、「802.11b/g」の混在モードはサポートしないので、本来の802.11gの性能が発揮されます。※1<br>802.11bより速度が速く、障害物に強い規格なので、異なるフロア間での通信などに便利です。<br>※1 802.11g専用を使用しても、ほかの2.4 GHz帯の無線機器(802.11b無線機器を含む)が存在するとその影響を受けて通信速度が遅くなります。<br>●「802.11a」は、5.2 GHz帯で通信を行います。ほかの家電製品と干渉する可能性が低く、高速、かつ、安定した通信を行います。障害物が少ない場合、802.11gで通信速度が遅くなる場合、また、大容量動画データの安定したストリーミング再生を行う場合などに便利です。 |
|---|---|






本製品と無線機器側で同じSSIDを設定する必要があります。

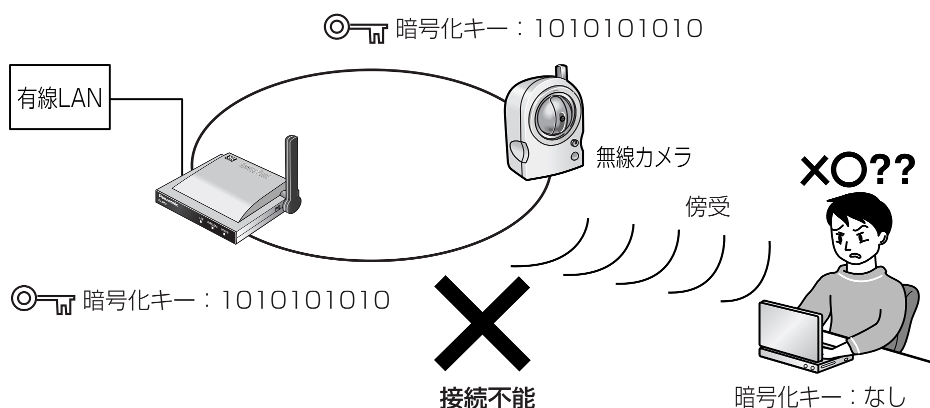



必要に応じて「暗号化」や「MACアドレスフィルタリング」を設定してください。通信データを暗号化するには、「暗号化設定」画面上の「暗号化方式」をクリックしてください。(☞ 42ページ)本製品に登録した無線機器以外が接続できないようにするには、「MACアドレスフィルタリング」をクリックしてください。(☞ 46ページ)

## 暗号化設定をする

### ■ 暗号化設定

無線LAN内で、通信するデータを暗号化することができます。暗号化を行うと、万一無線LANのデータを、他人に読まれても解読することが困難になります。暗号化は、無線LANのすべての機器に同じ暗号化キーを登録して行います。
暗号化を必ず設定してください。暗号化設定をせずに無線LANを使用すると、第三者に通信内容を盗聴されたり、パソコンに侵入されインターネットを不正使用されるなどの危険があります。
暗号化設定時の認証方式として、Shared Key方式と、Open System方式にも対応しています。認証方式の切り替えは、本製品が機器に合わせて自動で行います。







- **工場出荷時設定では、機器固有のSSIDと英数13文字128 bit暗号化キーが設定されています。SSIDと英数13文字128 bit暗号化キーの工場出荷時設定は、本製品底面に記載してあります。**
- WEP方式には、「16進10文字 64 bit」、「16進26文字 128 bit」、「16進32文字 152 bit」、「英数5文字 64 bit」、「英数13文字 128 bit」、「英数16文字 152 bit」の6種類があります。

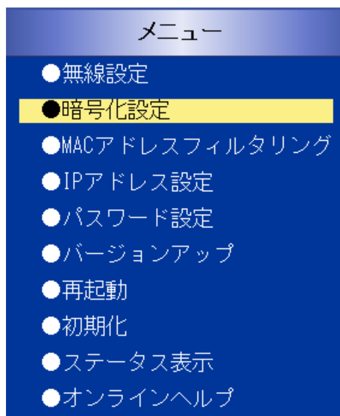



カメラなどを自動登録したあとに本製品の暗号化設定を変更した場合は、カメラなどの設定を合わせる必要があります。

つづく

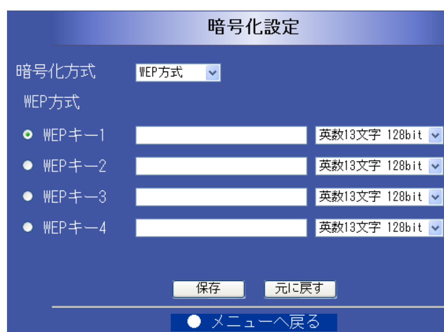
**1** ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 33〜34ページ)

**2** 暗号化設定 をクリックする




**3** 「暗号化方式」のドロップダウンリストから**「WEP方式」**を選ぶ

●**「暗号化なし」**を選んだときは、 保存 をクリックしてください。




**4** WEPキー1〜WEPキー4のそれぞれのドロップダウンリストから、**「16進10文字 64 bit」**、**「16進26文字 128 bit」**、**「16進32文字 152 bit」**、**「英数5文字 64 bit」**、**「英数13文字 128 bit」**、**「英数16文字 152 bit」**のうちいずれかを選ぶ

つづく

**5** WEPキー1～WEPキー4のそれぞれの空欄に、ドロップダウンリストで選んだ項目の文字数分を16進数(半角英数字で"0"～"9"、"A"～"F"または"a"～"f")または英数字で入力し、使用するWEPキー番号にチェックを入れる

(例)

| | | |
|---|---|---|
| WEPキー 1 | 0123456789abcdef012345abc | 16進26文字 128 bit |
| WEPキー 2 | 0123456789abcdef0123456789abcde | 16進32文字 152 bit |
| WEPキー 3 | 012y | 英数5文字 64 bit |
| WEPキー 4 | 0123456789uvwxy | 英数16文字 152 bit |




- **設定内容は、本製品を再起動すると＊（アスタリスク）で表示され、わからなくなります。必ずメモに記録しておき大切に保管してください。**
- 接続する無線機器にも同じWEPキー1～WEPキー4を入力し、手順5でチェックを入れた同じWEPキー番号を選んでください。データ入力欄については次ページを参照してください。



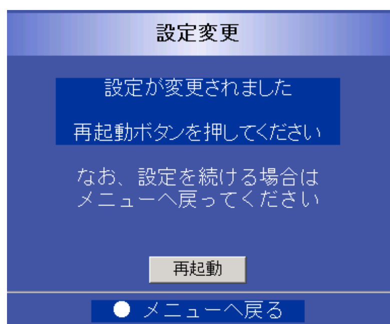

- 必ずしも接続する無線機器に同じWEPキー1～キー4をすべて入力しなくても、手順5でチェックを入れた同じWEPキー番号のみのWEPキーデータのみを入力して接続できる無線機器もあります。
- Windows XPでは暗号化キーは、「キーのインデックス」という名称になっています。
- 本製品と「BL-WA30」では128 bitのWEPキーを4つ設定できます。

**6** 入力が完了したら [保存] をクリックする

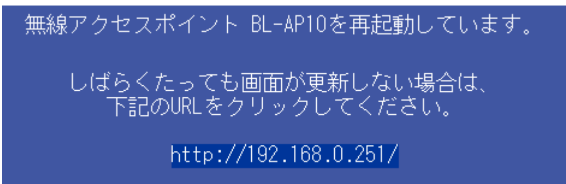
つづく

# 本製品を設定する【手動設定】

**7** 再起動 をクリックする




● 設定変更画面が表示されれば設定完了です。







再起動後、再起動完了画面 (☞ 38ページ) が表示されないときは、画面上に表示されるhttp://192.168.0.251/ をクリックしてください。
それでも表示されない場合は、パソコンを再起動してください。

### データ入力欄

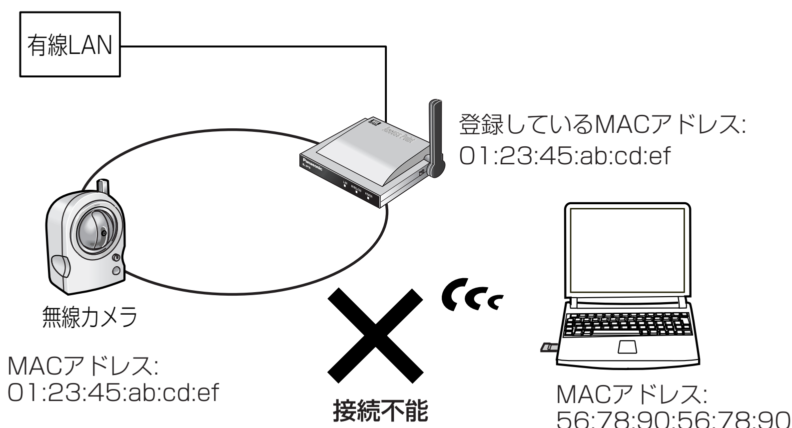
| | |
|---|---|
| **暗号化方式** | 「暗号化なし」または「WEP方式」を選びます。「暗号化なし」よりも「WEP方式」の方が安全性が高くなります。<br>(工場出荷時設定では「WEP方式」が選ばれています。) |
| **暗号化キーの設定** | 64 bit→128 bit→152 bitの順で安全性が高まりますが、反対に通信速度が若干低下します。また、Windows XPでは、「64 bit」は「40 ビット(10桁)」、「128 bit」は「104 ビット(26桁)」と表記されています。<br>(工場出荷時設定では「WEPキー1」の「英数13文字 128 bit」が選ばれています。) |




カメラなどを自動設定したあとに本製品の暗号化設定を変更した場合は、自動設定をやり直すか、個別に設定を合わせる必要があります。

## MACアドレスフィルタリングを設定する

本製品に登録していない無線機器から本製品に接続できないようにします。各無線機器には、固有のMACアドレスが登録されています。そのMACアドレスの値を「MACアドレスフィルタリング」に登録すると、登録したMACアドレスをもつパソコン以外は接続できなくなります。各パソコンのMACアドレスの確認のしかたは「パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには」(☞ 62ページ）を参照してください。

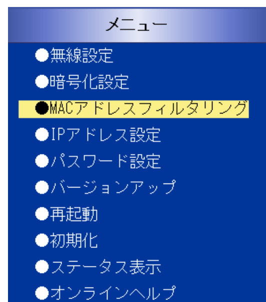



※ 当社製無線LANアダプター「BL-WA30」または当社製ホームネットワークカメラ「BL-C30」を登録する際は、無線LANアダプターに接続している機器またはカメラ本体のMACアドレスと無線モジュールのMACアドレスを2つとも登録してください。

※ 無線機器の登録の際は、無線LANカードのMACアドレスを登録してください。

**1** ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる (☞ 33～34ページ)

**2** MACアドレスフィルタリング をクリックする




つづく

**3** 操作項目の**「追加」**をクリックする

操作項目をクリックしてください。

| No. | 操作 | MACアドレス |
|---|---|---|
| | 追加 | |

注：オレンジ色で表示された行の情報は編集後、保存されていない状態です。設定を有効にするには、保存ボタンを押して保存する必要があります。

保存　元に戻す

● メニューへ戻る

**4** MACアドレスをデータ入力欄に入力する

半角数字とA〜Fまたはa〜fを2文字ずつ「：」で区切って、「01:23:45:ab:cd:ef」のように入力してください。

無線端末の登録追加設定

入力可能文字は半角数字と"A"〜"F"もしくは"a"〜"f"です。2文字ずつ":"で区切って 01:23:45:ab:cd:efのように入力してください。

MACアドレス

追加　戻る

**5** 追加 をクリックする

**6** **「使用する」**を選ぶ

MACアドレスフィルタリング

MACアドレスフィルタリング　○使用する　●使用しない

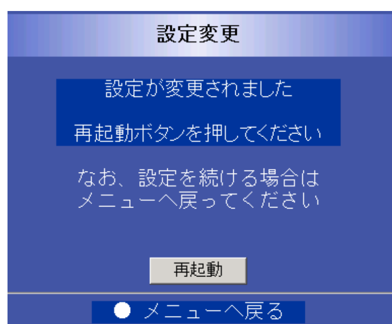
**7** 保存 をクリックする

つづく

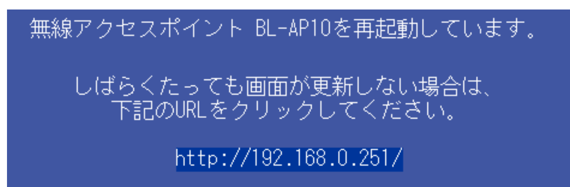
**8** OK をクリックする




**9** 設定内容を確認のうえ、 **再起動** をクリックする




- 設定変更画面が表示されれば設定完了です。







再起動後、再起動完了画面 (☞ 38ページ) が表示されないときは、画面上に表示されるアドレスをクリックしてください。
それでも表示されない場合は、パソコンを再起動してください。

# 本製品を設定する【手動設定】



## IPアドレスを変更する

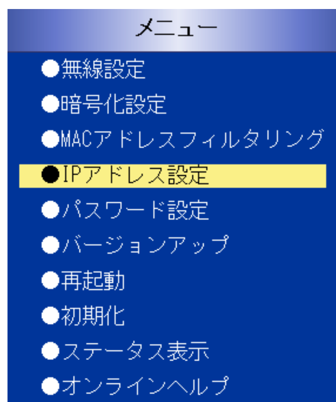
本製品のIPアドレスを変更します。




- **通常、IPアドレスの設定値を変更する必要はありません。特別に設定の必要がある場合のみ設定してください。**
- **本製品とルーターのネットワークアドレスが異なっている場合は、IPアドレスを変更する必要があります。ルーターのLAN側IPアドレスが192.168.1.1のときは、本製品を192.168.1.251などに変更してください。**

**1** ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 33～34ページ)

**2** 「IPアドレス設定」をクリックする




**3** 変更する「IPアドレス」を入力する

IPアドレス設定

IPアドレス　192　168　0　251

サブネットマスク　255　255　255　0

保存　元に戻す

● メニューへ戻る

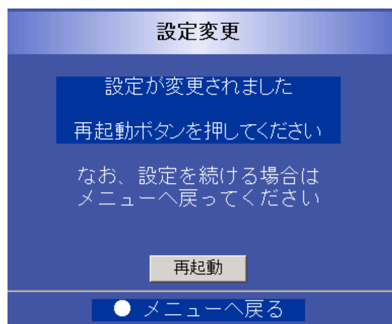



**ここで設定したIPアドレスが手動設定時にウェブブラウザでアクセスするIPアドレスになります。変更後、本製品のメニュー画面は変更したIPアドレスへアクセスしてください。**

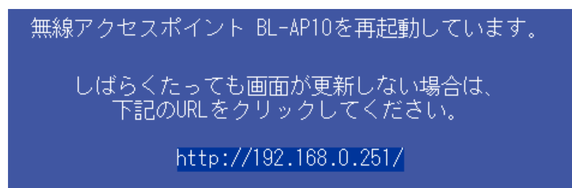
つづく

**4** 入力が完了したら 保存 をクリックする

**5** 再起動 をクリックする




● 設定変更画面が表示されれば設定完了です。





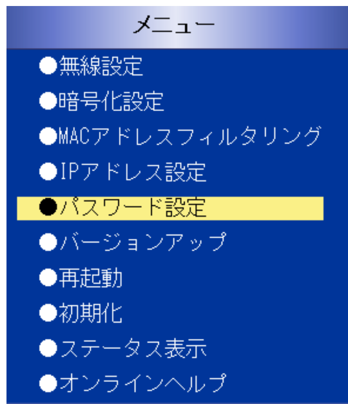


再起動後、再起動完了画面 (☞ 38ページ) が表示されないときは、画面上に表示されるアドレスをクリックしてください。
それでも表示されない場合は、パソコンを再起動してください。

## パスワードを変更する

**1** ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 33～34ページ)

**2** 「パスワード設定」をクリックする




**3** 変更するユーザー名とパスワードを入力する

パスワード設定

新しいユーザー名
新しいパスワード
パスワードの再入力

注：(1)ユーザー名とパスワードは、画面を表示するために必要です。必ず、メモをおとりください。
(2)ユーザー名とパスワードは、半角英数字のみ使用できます。ただし、[Space],["],['],[&],[<],[>]は、使用できません。
(3)大文字、小文字を区別して6～15文字を入力してください。
(4)パスワードは、ユーザー名と異なっていなければなりません。
(5)パスワードは定期的に変更してください。

保存　元に戻す

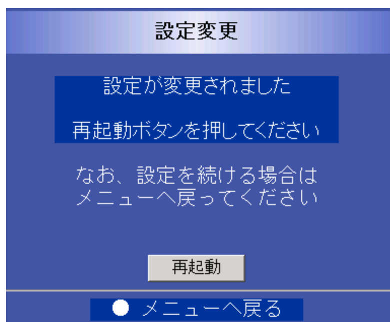
● メニューへ戻る

無線設定

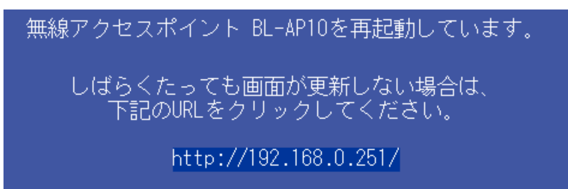
つづく

**4** 入力が完了したら 保存 をクリックする

**5** 再起動 をクリックする




- 設定変更画面が表示されれば設定完了です。







再起動後、再起動完了画面 (☞ 38ページ) が表示されないときは、画面上に表示されるアドレスをクリックしてください。
それでも表示されない場合は、パソコンを再起動してください。

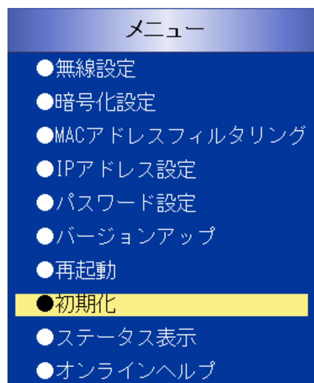
# 本製品を設定する【手動設定】

## 初期化する

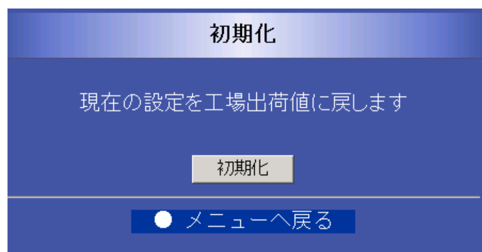
本製品の設定値を初期値 (工場出荷値) に戻します。

**1** ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 33〜34ページ)

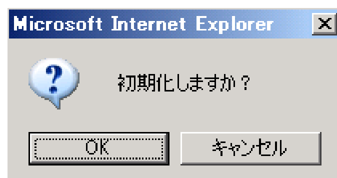
**2** 「初期化」をクリックする




**3** 初期化 をクリックする




**4** OK をクリックする




無線設定

つづく

●「初期化しています」の画面が表示されます。

無線アクセスポイント BL-AP10を初期化しています。

しばらくたっても画面が更新しない場合は、
下記のURLをクリックしてください。

http://192.168.0.251/

**5** ユーザー名とパスワードを入力する

パスワード設定

新しいユーザー名

新しいパスワード

パスワードの再入力

注：(1)ユーザー名とパスワードは、画面を表示するために必要です。必ず、メモをおとりください。
(2)ユーザー名とパスワードは、半角英数字のみ使用できます。ただし、[Space],["],['],[&],[<],[>]は、使用できません。
(3)大文字、小文字を区別して6～15文字を入力してください。
(4)パスワードは、ユーザー名と異なっていなければなりません。
(5)パスワードは定期的に変更してください。

保存　元に戻す




- 初期化後は、すべての設定値が工場出荷値（☞ 69ページ）に戻ります。
- **本製品底面のCLEAR SETTINGボタンを押して初期化することもできます。**（☞ 61ページ）
- **初期化中は、本製品の電源を絶対に切らないでください。**

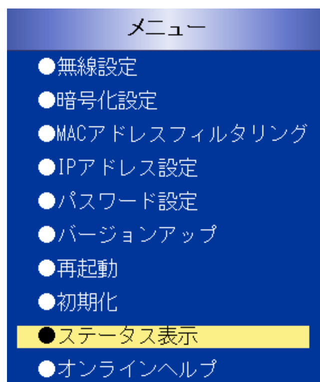
# 本製品を設定する【手動設定】



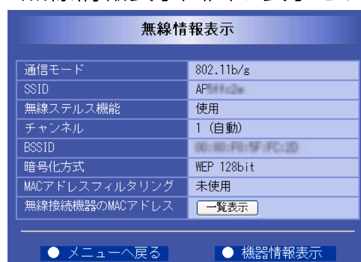
## 設定内容を確認する

**1** ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
（☞ 33～34ページ）

**2** 「ステータス表示」をクリックする

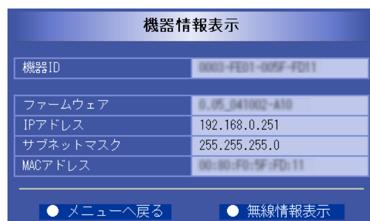



●無線情報表示画面が表示されます。




● 機器情報表示 をクリック

●機器情報表示画面が表示されます。




一覧表示 をクリック

●無線接続機器のMACアドレスが表示されます。



# 本製品を設定する【手動設定】

【無線情報表示】

● **通信モード**

使用している通信方式 (802.11b、802.11b/g、802.11g専用、802.11a) を表示します。

● **SSID**

使用している無線ネットワークグループの識別名を表示します。

● **無線ステルス機能**

無線ステルス機能の使用状況を表示します。

● **チャンネル**

接続している無線チャンネルを表示します。

| | |
|---|---|
| 802.11b、802.11b/g、802.11g専用 | ：1 CH～13 CHが表示されます。 |
| 802.11a | ：34 CH (5170 MHz)、38 CH (5190 MHz)、42 CH (5210 MHz)、46 CH (5230 MHz) |

● **BSSID**

本製品のMACアドレスを表示します。

● **暗号化方式**

設定している暗号化方式 (暗号化なし、WEP方式) を表示します。

● **MACアドレスフィルタリング**

使用しているかどうか表示します。

● **無線接続機器のMACアドレス**

接続している無線機器のMACアドレスを表示します。

# 本製品を設定する【手動設定】

## 【機器情報表示】

● **機器ID**

本製品の機器IDを表示します。

● **ファームウェア**

本製品の現在のファームウェアバージョンを表示します。

● **IPアドレス**

本製品のIPアドレスを表示します。このIPアドレスが、ウェブブラウザでアクセスするIPアドレスとなります。

● **サブネットマスク**

本製品のサブネットマスクを表示します。

● **MACアドレス**

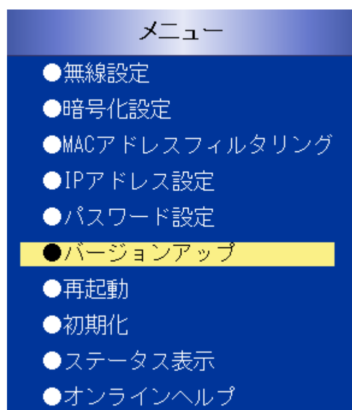
本製品のLAN側のMACアドレスを表示します。

# バージョンアップ

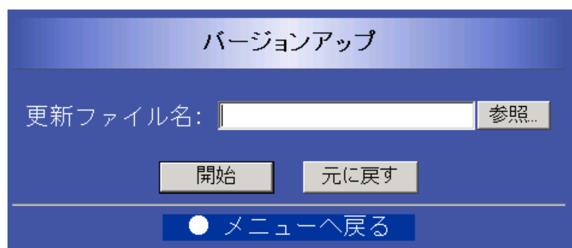
ファームウェアを更新します。
最新ファームウェアファイルは、パナソニックのサポートウェブサイト
http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/support/
から入手することができます。
更新を行う前に、最新のファームウェアファイルをパソコンにダウンロードしてください。

**1** ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 33～34ページ)

**2** 「バージョンアップ」をクリックする



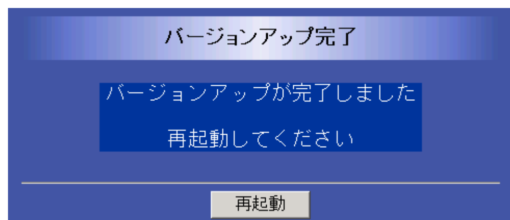

**3** 参照... をクリックして、ダウンロードしたファームウェアファイルを選択する



# バージョンアップ

**4** 開始 をクリックする

→ バージョンアップを開始します。
約20秒後、下記画面が表示されます。



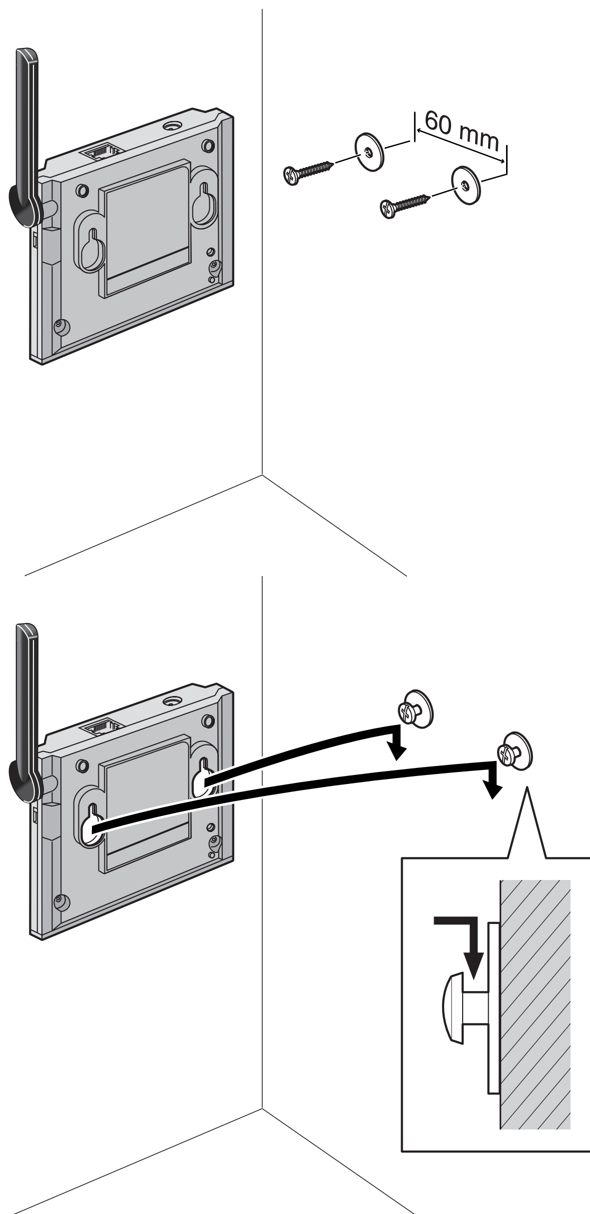

**5** 再起動 をクリックする




- 再起動後、再起動完了画面 (☞ 38ページ) が表示されない場合は、パソコンを再起動してください。
- バージョンアップする場合は、「ステータス表示」の「機器情報表示」画面でファームウェアのバージョンをご確認のうえ行ってください。(☞ 55ページ)
- バージョンアップ後は「ステータス表示」の「機器情報表示」画面でファームウェアのバージョンが更新されていることを確認してください。(☞ 55ページ)
- バージョンアップ中は、本製品およびパソコンの電源を絶対に切らないでください。

# 壁に掛けて使う

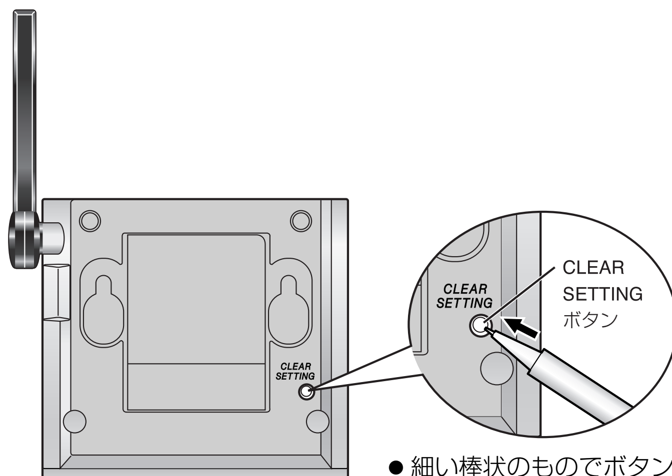
ねじ/ワッシャー（付属品）を壁に取り付け、本製品をねじに掛けて、静かに下にすべらせる



# 初期値(工場出荷値) に戻す

CLEAR SETTINGボタンを押すと設定した値は、初期値 (工場出荷値) に戻ります。
本製品のメニュー画面にアクセスできなくなったときなどにご使用ください。

- 電源を入れた状態で、CLEAR SETTINGボタンをボールペンの先などの細い棒状のもので約1秒押しつづけてください。
- POWERインジケーターがオレンジ点滅後、再起動します。
- 再起動中は、POWERインジケーターが緑に点灯するまで、絶対にACコードを抜かないでください。




- 細い棒状のものでボタンを約1秒押してください。

CLEAR SETTINGボタンは本製品の底面にあります。

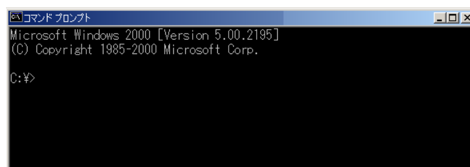
# パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには

各パソコンから本製品の設定画面にアクセスできない、またはネットワーク上のほかのパソコンと通信できない、などの場合には、各パソコンのIPアドレスの設定に問題がある可能性があります。以下の手順に従ってIPアドレスの設定を確認してください。

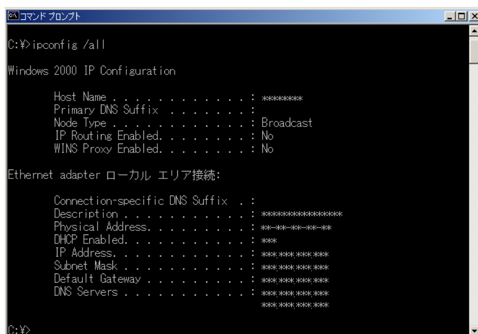
## Windows XP／2000の場合

**1** スタート メニューから**「すべてのプログラム」、「アクセサリ」、「コマンド プロンプト」**を選ぶ

Windows 2000の場合は、スタート メニューから**「プログラム」、「アクセサリ」、「コマンド プロンプト」**を選んでください。




**2** **コマンドプロンプト**のあとに**ipconfig /all**と入力し、Enterキーを押す







ipconfigコマンドの説明は、コマンドプロンプトのあとにipconfig/？と入力すると表示されます。

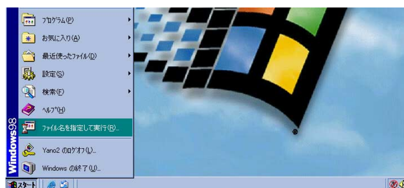
つづく

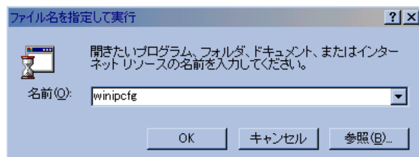
# パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには

## Windows Me／98SEの場合

以下の手順は、Windows Me／98SEの場合です。

**1** スタート メニューから**「ファイル名を指定して実行」**を選ぶ




**2** **名前**欄に**winipcfg**と入力し、OK をクリックする

**3** IPアドレスを確認したいLANカード(イーサネットアダプタ)を選ぶ



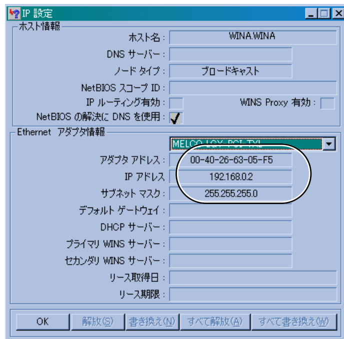

その他

つづく

# パソコンのIPアドレスやMACアドレスを確認するには

**4** 詳細 をクリックする

**IPアドレス**欄を見て、設定されているIPアドレスを確認してください。
**アダプタ アドレス**欄を見て、LANカード(イーサネットアダプタ)のMACアドレスを確認してください。







「IPアドレスを自動的に取得」を設定していて、「169.254.XXX.X」などの値が表示された場合は、IPアドレスが正しく取得できていない可能性があります。そのような場合は、次の手順に従ってIPアドレスを更新してください。

**1** 解放 をクリックする

自動取得していたIPアドレスが解放されます。

**2** 書き換え をクリックする

新しいIPアドレスが割り振られます。

**3** OK をクリックする

# 用語解説

## 英　字

| | |
|---|---|
| BSSID<br>(Basic Service Set Indentifer) | 一群の無線リンクを束ねるアクセスポイントのグループの識別子です。通常、アクセスポイントのMACアドレスと同じ値です。 |
| DHCP<br>(Dynamic Host Configuration Protocol) | 各パソコンがネットワークを利用するのに必要な情報をサーバーから自動的に取得するプロトコルです。DHCPサーバーは、IPネットワークに関連した情報（IPアドレスの割り振り範囲やデフォルトゲートウェイなど）を保持しており、DHCPクライアントから要求がくると、それらの情報を割り振ります。 |
| DNS<br>(Domain Name System) | ネットワーク環境で実際使用されるIPアドレスは、覚えにくく実用的ではありません。その解決法としてパソコンにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけて、IPアドレスに変換して通信が行われます。ドメイン名では、たとえば“panasonic.co.jp”などがあります。 |
| IEEE 802.11a | IEEE(米国電気電子学会)の無線LANの規格です。802.11aは、5.2 GHz帯を使用する最高54 Mbpsの高速な無線LANの規格です。 |
| IEEE 802.11b | IEEE(米国電気電子学会)の無線LANの規格です。802.11は赤外線も含む無線ネットワーク全般に関する規格であり、その中の802.11bは2.4 GHz帯を使用する最高11 Mbpsのネットワーク規格を定めています。この規格の作成には、米国だけでなく日本やヨーロッパからも参加しています。 |
| IEEE 802.11g | IEEE(米国電気電子学会)の無線LANの規格です。802.11gは、IEEE 802.11bと互換性を持ち、同じ2.4 GHz帯を使いながら、最大で54 Mbpsのデータ通信が行えます。 |
| IPアドレス<br>(Internet Protocol Address) | IPプロトコルで使用するためのアドレス情報です。IPで通信するすべてのネットワーク機器にはこのIPアドレスを割り振っておかなければなりません。特に、インターネットに接続されているネットワーク機器(端末)では、世界中でユニークな(単一な)IPアドレスを割り振っておく必要があります。 |

# 用語解説

| | |
|---|---|
| LAN<br>(Local Area Network) | フロアの中や同一建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域でのコンピューターネットワークのことです。 |
| MACアドレス<br>(Media Access Control Address) | LANカードなどに固有でつけられている物理アドレスのことです。00:11:22:AA:BB:CCといった形式で表されます。同じMACアドレスをもつLANカードは存在しません。すべて異なる物理アドレスが割り振られています。 |
| Open System | IEEE 802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、二つの認証サービスをサポートしています。Open System方式では暗号鍵を使わずに接続認証を行います。したがって、暗号鍵が異なっても無線リンクが成立することがあり、無線リンクはするが通信はできない場合があります。 |
| Shared Key | IEEE 802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、二つの認証サービスをサポートしています。Shared Key方式では接続認証に暗号鍵を使います。したがって、暗号化方式にWEP暗号を選択する必要があります。また、暗号鍵が異なっていると接続認証に失敗するため無線リンクは成立しません。 |
| SSID<br>(Service Set Identifier) | 無線ネットワークグループの識別名です。無線接続をグループ分けするためのものです。「ESSID」とも言います。半角英数字記号1～32文字まで入力できます。(英字は大文字、小文字の区別があります。) |
| TCP/IP | Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略です。ネットワークプロトコルの1つです。UNIXワークステーションおよびインターネットにおける標準プロトコルです。 |
| URL<br>(Uniform Resource Locator) | インターネット上のリソースを指定する方式です。<br>具体例としては、インターネット上のウェブサイトにアクセスする際に使用する「http://panasonic.jp」のことです。 |
| WEP | 無線通信における暗号化技術を意味します。第三者によるデータの傍受を防ぐために、送信パケットを暗号化することでセキュリティを高める技術です。 |

# 用語解説

**WEPキーサイズ**

64/128/152 bitの暗号化方式が選択できます。
備考：暗号化は、64 bit、128 bit、152 bitの順でセキュリティ強度が高くなります。
逆に、実質の通信速度は、なし、64 bit、128 bit、152 bitの順で遅くなります。

**WEP認証方式**

IEEE 802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、2つの認証サービスをサポートしています。

## あ

**イーサネット (Ethernet)**

Xerox社などによって開発されたLAN通信方式です。

**ウェブサーバー**

画像、動画、音声などをハイパーテキスト形式で蓄積し、情報を提供するファイルサーバーです。
ハイパーテキスト型情報では、情報内のテキスト文字列（ワード）が別の情報であるテキストやファイル、画像、動画、音声などにリンクしているので、それぞれのワードをマウスでクリックすると、より詳しい情報を抽出することができます。

**ウェブブラウザ**

ウェブサーバーにアクセスするためのクライアント・プログラムです。
Microsoft社のInternet Explorerなどがあります。

## か

**ゲートウェイ**

ゲートウェイは、ルーティング情報を交換しネットワークを管理しているコンピューター(ルーターなど)でネットワークのパケットの道先案内をします。
ローカルネットワーク以外への通信は、デフォルトゲートウェイを介して行われます。

## さ

**サブネットマスク**

IPアドレスは、ネットワークIDとホストIDによって構成されます。そのネットワークIDとホストIDとを区別するために、サブネットマスクがネットワークIDの長さを判定する役目をします。

## た

**ダウンロード**
遠隔地にある装置側からネットワークを使用し、データを自分側に転送し保存する作業です。

**チャンネル**
無線通信で使用できる周波数帯域を分割すると、別々の通信ができます。分割したそれぞれの周波数がチャンネルです。

## は

**ハブ**
10/100Base-Tネットワークで用いられる集線装置です。8ポートや4ポートなど、複数のポート数をもつ装置があります。

**バージョンアップ**
本製品は、ファームウェア(本製品を動作するための基本ソフトウェア)を更新することができます。最新ファームウェアは、パナソニックのサポートウェブサイト http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/support/ に掲示されます。

**ファームウェア**
本製品を動作させるプログラムです。

**ファイアウォール**
インターネットを利用する際のセキュリティの1つ。インターネットからネットワークへの不法な侵入を防ぐ目的で、インターネットとやり取りできるパソコンを制限したり、利用できるインターネットサービスを制限したりします。

**プロキシサーバー**
組織内のネットワークとインターネットとの境界で、内部ネットワークの「代理(プロキシ)」として、インターネットとの接続を行うコンピューターやソフトウェアを意味します。内部ネットワークからの特定接続の許可や、外部ネットワークからの不正なアクセスの遮断を行います。回線の負荷を軽減するために、読み込んだファイルを一定時間保存しておくキャッシュ機能をもつプロキシサーバーもあります。

# 本製品の初期値（工場出荷値）

## ■ 無線設定

SSID　：本製品底面に記載
無線ステルス機能　：使用する
802.11aチャンネル　：自動
802.11b,11gチャンネル：自動
802.11g通信モード　：802.11b/g

## ■ 暗号化設定

暗号化方式　：WEP方式
WEPキー　：本製品底面に記載 (WEP 128 bit)

## ■ MACアドレスフィルタリング

MACアドレスフィルタリング：使用しない

## ■ IPアドレス設定

IPアドレス　：192.168.0.251
サブネットマスク　：255.255.255.0

## ■ パスワード設定

ユーザー名・パスワード　：本製品に初めてアクセスするときに設定します

# 製品仕様

## 無線インターフェース

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| 規格 | IEEE 802.11b、IEEE 802.11g、 IEEE 802.11a (無線LAN 標準互換プロトコル)準拠 |
| 伝送方式 | 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS方式)、<br>直交波周波数分割多重変調(OFDM方式) |
| 周波数範囲 | 2,412 ～2,472 MHz (計13 CH : 802.11b、802.11b/g、 802.11g専用)<br>5,170 MHz、5,190 MHz、5,210 MHz、5,230 MHz、(計4 CH : 802.11a) |
| チャンネル | 1 ～13 CH (802.11b、802.11b/g、802.11g専用)<br>34 CH、38 CH、42 CH、46 CH (802.11a) |
| データ転送速度 | ＜自動フォールバック機能＞<br>1/2/5.5/11 Mbps※(IEEE 802.11b)<br>1/2/5.5/11 Mbps※&<br>6/9/12/18/24/36/48/54 Mbps※ (IEEE 802.11g)<br>6/9/12/18/24/36/48/54 Mbps※ (IEEE 802.11a) |
| 機器種別 | 小電力データ通信システム |
| 有線－無線変換機能 | イーサネット対応機器を無線化 |
| アクセス制御 | ● SSID<br>● ANY接続拒否機能<br>● 無線ステルス機能 |
| セキュリティ | ● WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化機能（64 bit/128 bit/152 bit ）<br>● MACアドレスフィルタリング |

※表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

●本製品にはAtheros Communications社製の無線チップセットを使用しております。

## 無線インターフェース (つづき)

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| 通信飛距離 | 屋内見通し 約120 m、屋外見通し 約600 m<br>● 通信距離は環境条件により変化します。<br>鉄筋コンクリートの建物および大型金属製品、電子レンジの近くなどでは、通信距離が短くなることがあります。<br>間に障害物(壁や家具、什器)などがある場合、周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。<br>● IEEE 802.11aの屋外での使用は法律により禁止されています。 |

## LANインターフェース (有線LAN部)

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| MDI/MDI-X | クロス/ストレートケーブル自動認識 |
| 規格 | IEEE 802.3準拠 (10Base-T/100Base-TX) |
| 対応プロトコル | TCP/IP (HTTP) |
| アクセス方式 | 搬送波感知多重アクセス (CSMA)/衝突検出方式 (CD) |
| データ転送速度 | 10 Mbps/100 Mbps (オートセンス) |
| ポート数 | 1ポート（RJ−45ポート） |

## ユーザーインターフェース

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| インジケーター表示 | POWERインジケーター (緑/オレンジ/赤)<br>WIRELESSインジケーター（緑）<br>LANインジケーター（緑） |
| モード切替スイッチ | 802.11b、802.11g、802.11a |

# 製品仕様

## 対応パソコン (手動設定時)

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| OS | Windows XP/2000/Me/98SE |
| インターフェース | 10/100 Mbpsのイーサーネットカードが内蔵 |
| メモリー | 64 MB以上 |
| プロトコル | TCP/UDP/HTTP |
| 通信プロトコル | TCP/IP |
| ウェブブラウザ | Internet Explorer 6.0以降 (日本語版) |

## その他

| 項　目 | 仕　様 |
|---|---|
| ACアダプター | 入力：AC100 V　50/60 Hz (品番: PQLV202JP) |
| 電源 | 出力：DC12 V, 0.75 A |
| 消費電力 | 最大約4.5 W |
| 外形寸法 | 約110(W) mm x 約27(H) mm x 約91(D) mm<br>※アンテナ収納状態 |
| 質量 | 約 120 g (本体のみ) |
| 動作環境 | 温度 0～40 ℃、湿度 20～85 %（結露なきこと） |

# 保証とアフターサービス

**修理・お取り扱い・お手入れ**
などのご相談は…
**まず、お買い上げの販売店へ**
お申しつけください

**転居や贈答品などでお困りの場合は…**

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日･販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、この無線アクセスポイントの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

「ご使用の前に／困ったときには」の「故障かなと思ったとき」に従ってご確認のあと、直らないときは、まずAC コードのプラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

| ご連絡いただきたい内容 | |
|---|---|
| 製品名 | 無線アクセスポイント |
| 品　番 | BL-AP10 |
| お買い上げ日 | 年　　月　　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |

**お願い**

- **停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。**

**本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。**

その他

# 保証とアフターサービス

## 修理に関するご相談

ナショナル・パナソニック
修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)

**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

## 使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル・パナソニック
お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

**Help desk for foreign residents in Japan**
〈外国人／海外仕様商品(ツーリスト商品他)等ご相談窓口〉
**Tokyo** (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

## ナショナル・パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

### 北 海 道 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 札幌 | 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 | ☎(011)894-1251 |
| 旭川 | 旭川市2条通21丁目左1号 | ☎(0166)31-6151 |
| 帯広 | 帯広市西19条南1丁目7-11 | ☎(0155)33-8477 |
| 函館 | 函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内) | ☎(0138)48-6631 |

### 東 北 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 青森 | 青森市第二問屋町3-7-10 | ☎(017)739-9712 |
| 秋田 | 秋田市御所野湯本2丁目1-2 | ☎(018)826-1600 |
| 岩手 | 盛岡市羽場13地割30-3 | ☎(019)639-5120 |
| 宮城 | 仙台市宮城野区扇町7-4-18 | ☎(022)387-1117 |
| 山形 | 山形市平清水1丁目1-75 | ☎(023)641-8100 |
| 福島 | 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 | ☎(0243)34-1301 |

### 首 都 圏 地 区

| | | |
|---|---|---|
| 栃木 | 宇都宮市御幸町194-20 | ☎(028)689-2555 |
| 群馬 | 高崎市大沢町229-1 | ☎(027)352-1109 |
| 茨城 | つくば市花畑2丁目8-1 | ☎(029)864-8756 |
| 埼玉 | 桶川市赤堀2丁目4-2 | ☎(048)728-8960 |
| 千葉 | 千葉市中央区星久喜町172 | ☎(043)208-6034 |
| 東京 | 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 | ☎(03)5477-9780 |
| 山梨 | 甲府市宝1丁目4-13 | ☎(055)222-5171 |
| 神奈川 | 横浜市港南区日野5丁目3-16 | ☎(045)847-9720 |
| 新潟 | 新潟市東明1丁目8-14 | ☎(025)286-0171 |

# 保証とアフターサービス

## ナショナル・パナソニック　修　理　ご　相　談　窓　口

### 中　部　地　区

| | | | |
|---|---|---|---|
| 石川 | 石川県石川郡野々市町<br>稲荷3丁目80<br>☎ (076)294-2683 | 名古屋 | 名古屋市瑞穂区<br>塩入町8-10<br>☎ (052)819-0225 |
| 富山 | 富山市寺島1298<br>☎ (076)432-8705 | 岡崎 | 岡崎市岡町南久保28<br>☎ (0564)55-5719 |
| 福井 | 福井市開発4丁目<br>112<br>☎ (0776)54-5606 | 岐阜 | 岐阜県本巣郡北方町<br>高屋太子2丁目30<br>☎ (058)323-6010 |
| 長野 | 松本市大字笹賀<br>7600-7<br>☎ (0263)86-9209 | 高山 | 高山市花岡町3丁目<br>82<br>☎ (0577)33-0613 |
| 静岡 | 静岡市西島765<br>☎ (054)287-9000 | 三重 | 久居市森町字北谷<br>1920-3<br>☎ (059)255-1380 |

### 近　畿　地　区

| | | | |
|---|---|---|---|
| 滋賀 | 守山市勝部6丁目<br>2-1<br>☎ (077)582-5021 | 奈良 | 大和郡山市筒井町<br>800番地<br>☎ (0743)59-2770 |
| 京都 | 京都市伏見区竹田<br>中川原町71-4<br>☎ (075)672-9636 | 和歌山 | 和歌山市中島499-1<br>☎ (073)475-2984 |
| 大阪 | 大阪市北区本庄西<br>1丁目1-7<br>☎ (06)6359-6225 | 兵庫 | 神戸市中央区<br>琴ノ緒町3丁目2-6<br>☎ (078)272-6645 |

### 中　国　地　区

| | | | |
|---|---|---|---|
| 鳥取 | 鳥取市安長295-1<br>☎ (0857)26-9695 | 浜田 | 浜田市下府町327-93<br>☎ (0855)22-6629 |
| 米子 | 米子市米原4丁目<br>2-33<br>☎ (0859)34-2129 | 岡山 | 岡山県都窪郡早島町<br>矢尾807<br>☎ (086)292-1162 |
| 松江 | 松江市平成町<br>182番地14<br>☎ (0852)23-1128 | 広島 | 広島市西区南観音<br>8丁目13-20<br>☎ (082)295-5011 |
| 出雲 | 出雲市渡橋町416<br>☎ (0853)21-3133 | 山口 | 山口市鋳銭司 字<br>鋳銭司団地北447-23<br>☎ (083)986-4050 |

### 四　国　地　区

| | | | |
|---|---|---|---|
| 香川 | 高松市勅使町152-2<br>☎ (087)868-9477 | 高知 | 南国市岡豊町中島<br>331-1<br>☎ (088)866-3142 |
| 徳島 | 徳島県板野郡北島町<br>鯛浜字かや108<br>☎ (088)698-1125 | 愛媛 | 松山市土居田町<br>750-2<br>☎ (089)971-2144 |

### 九　州　地　区

| | | | |
|---|---|---|---|
| 福岡 | 春日市春日公園<br>3丁目48<br>☎ (092)593-9036 | 宮崎 | 宮崎市本郷北方<br>字草葉2099-2<br>☎ (0985)63-1213 |
| 佐賀 | 佐賀市鍋島町大字<br>八戸字上深町3044<br>☎ (0952)26-9151 | 熊本 | 熊本市健軍本町12-3<br>☎ (096)367-6067 |
| 長崎 | 長崎市東町1949-1<br>☎ (095)830-1658 | 天草 | 本渡市港町18-11<br>☎ (0969)22-3125 |
| 大分 | 大分市萩原4丁目<br>8-35<br>☎ (097)556-3815 | 鹿児島 | 鹿児島市与次郎<br>1丁目5-33<br>☎ (099)250-5657 |
| | | 大島 | 名瀬市長浜町10-1<br>☎ (0997)53-5101 |

### 沖　縄　地　区

| | | |
|---|---|---|
| 沖縄 | 浦添市城間4丁目23-11 | ☎ (098)877-1207 |

所在地、電話番号が変更になることがありますので、
あらかじめご了承ください。　0904

■ 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

■ 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

**愛情点検** **長年ご使用の無線アクセスポイントの点検を!**

こんな症状はありませんか?

- ACアダプターのコードが傷んでいる。
- こげくさい臭いや異常な音がする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントからACコードのプラグを抜いて、必ず**販売店に点検を**依頼してください。

## 便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

| お買い上げ日 | 年　月　日 | 品　番 | BL-AP10 |
|---|---|---|---|
| 販　売　店　名 | 電話（　　　）　— | | |

**松下電器産業株式会社**
**パナソニック コミュニケーションズ株式会社**
**テレコムカンパニー**

〒812-8531　福岡市博多区美野島4丁目1番62号



**PSQX3561ZA**　KK1104RM0